

わたしの・かぞくのハザードマップ

マイ・ハザードマップ



いつ、どこに、どうやって逃げるかは世帯ごとに違う

避難場所への距離、移動するスピードは人それぞれです。家族構成や生活環境を踏まえて、災害のリスクを把握し、余裕をもって逃げる必要があります。

世帯ごとのハザードマップを作る

自分の、家族の状況に合った「タイムライン」と「地図」を組み合わせた世帯ごとのマイ・ハザードマップを作ることが有効です。

土砂災害マイ・ハザードマップ

①タイムラインの部分

土砂災害の危険度	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報
小	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報
避難情報	避難情報	避難情報	避難情報
避難行動	避難行動	避難行動	避難行動

災害の危険度に応じて、「いつ」「何をするか」

たとえば・・・
「大雨注意報が出たら、避難袋の場所を確認する」など

②地図の部分

自宅から避難場所までの避難経路と危険な場所を整理

過去に災害があった場所、大雨のときに冠水する場所などを書き込んでいく

★作成キットをインターネットで公開しています。

★ぜひ世帯ごとで作成をしてみましょう！

「愛知県 マイ・ハザードマップ」で検索するか、
右のQRコードからアクセスしてください
<https://myhazardmap.jp/>



詳しい話は、最寄りの県建設事務所か砂防課までお問合せください